

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2015年度事業報告

I 概要

会員数はほぼ横這いですが、日本学生フライヤー連盟の新入生勧誘活動により学生の登録数が増えました。大学を卒業した後も安全に飛び続けてもらえる環境を検討しています。

パラグライディング・アキュラシー世界選手権で吉富周助選手が121人中6位、FAIワールドエアゲームズで岡芳樹選手が9位の成績でした。パラグライダーでは、平木啓子選手の直線距離353km、目的地直線距離301km、阿部章吾選手の25km三角コース速度39.91km/h、ハンググライダーでは磯本容子選手の目的地直線距離367.6km、以上の4つの日本記録が更新されました。

当期は残念ながら重大事故が目立ちました。パラグライディング教本副読本・動力付きパラグライダーの頒布を開始、MPGパイロット安全セミナー用に資料を作成しました。

1. 収支の現状

公益社団の認定を受けた時に求められた公益目的財産の消化は順調に進み、単年度赤字が350万円ほど計上され、次期繰越金は1000万円を割り込みました。フライヤー会員からの会費収入の規模に比べ、安全啓蒙活動や教本などの指導力強化に資金を多く投入し、将来に備えています。JHFの財力は、まだあと数年はこの程度の赤字を続ける余力がありますが、その期間のうちに再び若い世代が活発に飛び始める環境を整えなければ、尻すぼみに衰退してしまいます。当面の持続費用を賄うために、一度は公益目的事業基金に凍結した資金の一部を解除することにしました。安全面を向上させ、事故を無くすまで赤字でも対策資金を投入します。確実な効果をあげ、近い将来のJHFの財産としていきます。

2. 組織運営等

- 1) JHFパラグライディング教本副読本 [動力付きパラグライダー]の頒布を開始
- 2) MPGパイロット安全セミナー資料を作成
- 3) パイロット安全セミナーを開催
パラグライダー 2カ所66名参加、ハンググライダー 1カ所約100名参加
- 4) 教員検定員による教員助教員更新講習会を11カ所で開催、48名が受講
- 5) レスキューパラシュートリパック更新講習会を11カ所で開催、37名が受講
- 6) 教員検定会にて5名を新しくパラグライディング教員に認定
- 7) 内閣府定期立入検査(10月22日)への対応(問題なく終了)

3. 特記事項

- 1) 第38回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月25日(土)～26日(日) 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 埼玉スカイスポーツフェスタ2015に共催
10月25日(日) 埼玉県熊谷市妻沼滑空場
- 3) 第21回スカイスポーツシンポジウムを協賛
11月28日(土) 日本大学理工学部・駿河台校舎
- 4) 日本記録更新
ア) 11月2日の平木啓子選手の直線距離 353km (ブラジル キシャダ～アルト・ロンガ)、目的地直線距離301km (ブラジル キシャダ～カステロ・デ・ピアウイ)
イ) 7月18日の阿部章吾選手の25km三角コース速度39.91km/h (フランス ブ

ランフェ〜タロワール)

ウ) 2016年1月7日の礪本容子選手の目的地直線距離367.6km(オーストラリア
フォーブス〜ウォルゲット)

- 5) 平成27年度一般財団法人日本航空協会「空の日」航空関係者表彰式が開催(9月18日)
され、日本記録証を山崎能啓氏(パラグライダー一般目的地直接距離215.4km ブラ
ジル キシャンダ〜ポランガ)、阿部章吾氏(パラグライダー一般25km三角コース速度
39.91km/h フランス ブランフェ〜タロワール)に授与された。
- 6) 一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」に
東京都ハング・パラグライディング連盟(8月1日〜2日、2016年2月7日)、
宮城県ハング・パラグライディング連盟(2016年3月19日)が協力

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

ア 正会員 47

イ フライヤー会員 8,123名(2016年3月末有効登録数)

ウ 賛助会員 13

(2) 役員構成

理事 7名(内会長1名、副会長1名) 監事 1名(2016年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2015年 6月通常総会
開催通知 2015年4月 6日(月)
開催日 2015年6月23日(火) 11:00~17:00
開催場所 東京体育館 第一会議室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷)

議案 報告事項1 2014年度事業報告について
報告事項2 2014年度決算報告について
決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について
報告事項3 2015年度事業計画について
報告事項4 2015年度収支予算について
決議事項2 JHF役員選任について
報告事項5 日本体育協会加盟について

(2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月21日(出:理事9、監事2)
イ 第2回理事会 開催日 6月23日(出:理事7、監事1)
ウ 第3回理事会 開催日 7月 9日(出:理事7、監事1)
エ 第4回理事会 開催日 10月 8日(出:理事7、監事1)
オ 第5回理事会 開催日 3月23日(出:理事7、監事1)

文書理事会 開催日 6月12日、7月21日、8月10日、8月24日、
8月28日、10月22日、11月9日、1月21日、1月29日(2件)、
3月31日

(3) 委員会

- ア ハンググライダー競技委員会 競技会開催時に実施
- イ パラグライダー競技委員会 2016年1月21日、他競技会開催時に実施
- ウ 補助動力委員会 4/23、11/6、2/8
- エ 教員・スクール事業委員会 6/24、12/16
- オ 安全性委員会 4/14、6/22、10/6
- カ 制度委員会
- キ ハングパラ振興委員会 4/22、7/15、10/21、1/21、3/29
- ク 役員選任実行委員会 4/14、5/14
- ケ 委員長理事合同会議 3/8

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

- ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）
（独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています）
- イ 都道府県連盟事業費の交付
- ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数：2015年度 6,020名（新規・更新）
2014年度 5,904名

(3) 技能証発行

- ア HG： 226枚（2014年度 227枚）
- イ PG： 1,018枚（2014年度 1,040枚）
- ウ MPG： 24枚（2014年度 41枚）
- エ レスキューリパック認定証 46枚（新規5・更新41）

(4) 競技会の主催・公認・後援

- ア HG： 17件（内FAIカテゴリーI・II：2件）
- イ PG： 32件（内FAIカテゴリーI・II：2件）
- ウ HG・PG同時開催： 3件

(5) 競技会の開催

- ア HG：
 - 1 日本選手権
9月19日～23日 茨城県足尾エリア
参加55名 日本選手権者：田中元気 女子：礪本容子
 - 2 クラスV日本選手権 10月31日～11月3日 茨城県足尾エリア
参加21名 日本選手権者：板垣直樹
 - 3 ハンググライダーシリーズ
第1位 大門浩二 女子第1位：礪本容子
 - 4 ハンググライダーXCリーグ
第1位 砂間隆司（173.3km）
- イ PG：
 - 1 日本選手権
10月9日～12日 茨城県足尾エリア
参加71名 日本選手権者：若山朋晴 女子：平木啓子
 - 2 アキュラシー日本選手権
10月10日～12日 岩手県夏油エリア
参加18名

日本選手権者：吉富周助

3 ジャパンリーグ(参加人数105名)

オープンクラス 1位：呉本圭樹

オープンクラス女子 1位：高田奈緒

スポーツクラス 1位：高田奈緒

スポーツクラス女子 1位：高田奈緒

ジャパン2リーグ(参加人数48名)

総合 1位：岩谷勝弘

女子 1位：橋本 泉

クロスカントリーリーグ(32名 92本) 1位：中川喜昭

最長フライト 中川喜昭(168.6km)

アキュラシージャパンリーグ(参加人数24名)

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹

スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子

ハンディキャップクラス 1位：和田浩二

ルーキークラス 該当者なし

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア スクールサイト登録校 152件 (うち新規登録校5件、削除3件)

イ エリア情報掲載 178件

(7) 海外関係団体活動

ア CIVL総会 2016年2月18日～21日

スイス 出席者：デレゲイト 岡 芳樹、HG競技委員 牟田園明

(8) 世界選手権へのチーム派遣

ア 第8回パラグライダーイングアキュラシー世界選手権

参加選手：9名

8月9日～17日 インドネシア プンチャック

イ 2015FAIワールドエアゲームズ

参加選手：1名

12月1日～12日 ドバイ アラブ首長国連邦

(9) その他

ア 機体型式登録 25件 (PG25件、HG 0件)

イ 機体情報登録 103件 (PG89件、HG14件)

添付： 2015年度 委員会等活動報告補足

以上

< 2015年度委員会活動報告補足 >

ハンググライディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 3) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は随時実施。
- 4) ライブトラックの競技導入により集計の簡略と安全運営の両立。
- 5) 2015年ハンググライディング・クラスI日本選手権開催（茨城・足尾）
2015年9月19日～23日 55名参加 タスク5本成立。
日本選手権者：田中元気、2位 鈴木博司、3位 松田晃明、4位 加藤実、
5位 大門浩二、6位 砂間隆司
女子日本選手権者：礪本容子、2位 野尻知里、3位 谷古宇瑞子
- 6) 2015年クラスV日本選手権開催（茨城・足尾）
2015年10月31日～11月3日 21名参加。タスク3本成立。
日本選手権者：板垣直樹、2位 塩野正光、3位 松田隆至
- 7) ハンググライディングシリーズ管理運営
参加人数 94名
1位：大門浩二、2位：田中元気、3位：鈴木博司
女子1位：礪本容子、2位 鈴木あき子、3位 野尻知里
- 8) ハンググライディングXCリーグ管理運営
1位：砂間隆司（173.30km）
- 9) 各種大会のJHF公認および後援申請に対する審議および承認

パラグライディング競技委員会活動実績 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第8回パラグライディング・アキュラシー世界選手権（インドネシア、プンチャック：2015年8月9～17日）へ選手派遣（男子8名、女子1名）（横井清順、岡 芳樹、吉富周助、古賀光晴、川村 眞、伊藤まり子以上チームメンバー、古田岳史、小松理樹、菅野剛広以上個人参加）
総合1位：デデ・スプラットマン（インドネシア）2位：マチアス・スルーガ（スロベニア）、
3位：トーマス・レドニック（チェコ）、6位：吉富、35位：岡、42位：横井、61位：小松、68位：菅野、89位：古田、94位：古賀、97位：伊藤、115位：川村。
女子1位：ナナパット・プチョン（タイ）、2位：ヘー・ジョン・チョ（韓国）、3位：ヨランタ・ロマネンコ（リトアニア）、16位：伊藤まり子。

国別1位：タイ、2位：セルビア、3位：インドネシア、8位：日本。

4) 2015FAIワールドエアゲームズ(ドバイ、アラブ首長国連邦：12月1~12日)へ選手派遣
(男子1名)(岡 芳樹)

総合1位：ジョージ・コテット(ルーマニア)、2位：マー・チャン(中華人民共和国)、3位：
ゴラン・デュルコヴィッチ(セルビア)、9位：岡

5) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・Jリーグ結果(参加人数105名)

オープンクラス 1位：呉本圭樹、2位：岩崎拓夫、3位：上山太郎
オープンクラス女子 1位：高田奈緒、2位：山下敦子、3位：平木啓子
スポーツクラス 1位：高田奈緒、2位：山下敦子、3位：中目みどり
スポーツクラス女子 1位：高田奈緒、2位：山下敦子、3位：中目みどり

・J2リーグ(参加人数48名)

総合 1位：岩谷勝弘、2位：藤原 功、3位：荒木哲也
女子 1位：橋本 泉、2位：坂本智春、3位：中目みどり

・XCリーグ(30名、92本)

1位：中川喜昭(470.7km)、2位：二三四藤昭(434.7km)、3位：関口典彦(340.4km)
最長フライト：中川喜昭(168.6km)

・AJリーグ(参加人数24名)

スクラッチクラス 1位：岡 芳樹、2位：和田浩二、3位：横井清順
スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子、2位：内田 薫、3位：菊田久美
ハンディキャップクラス 1位：和田浩二、2位：岡 芳樹、3位：横井清順
ルーキークラス 該当者なし

6) 2015年度日本選手権開催(茨城県足尾エリア)2015年10月9~12日

タスク3本成立/4日 71名参加 規定により日本選手権として成立。

日本選手権者：若山朋晴、女子日本選手権者：平木啓子

総合1位：ヨスト・ナプレット(スロベニア)、2位：若山朋晴、3位：中川喜昭、4位：成山基義、
5位：呉本圭樹、6位：酒井節夫

女子1位：平木啓子、2位：高橋美佳、3位：山下敦子

スポーツクラス1位：村田好彦、2位：元山 工、3位：山本雅史

スポーツクラス女子1位：高橋美佳、2位：山下敦子、3位：高田奈緒

7) 2015年度アキュラシー日本選手権開催(岩手県夏油エリア)2015年10月10~12日

4ラウンド成立 18名参加 規定により日本選手権として成立。

日本選手権者：吉富周助

総合1位：吉富周助、2位：岡 芳樹、3位：横井清順、4位：川村 眞、5位：古田岳史、
6位：伊藤まり子

女子1位：伊藤まり子、2位：宮手裕子、3位：菊田久美

ハンディキャップ1位：吉富周助、2位：横井清順、3位：岡 芳樹

安全性委員会 委員長 桂 敏之

- 1) パイロット安全セミナーを開催
PG：2015年 2カ所開催 66名参加（2014年 10カ所 204名参加）
HG：2015年 1カ所開催 約100名参加（2014年 2カ所 49名参加）
- 2) HGの機体整備票の運用
- 3) 型式登録、機材情報登録の運用・JHFレポートへ掲載
- 4) DHV・PMA・クリーゲル氏と会談
- 5) 事故調査と報告
- 6) バーディゴ検証
- 7) MPGパイロット安全セミナー資料作成

【2015年度の事故報告】

1. 4月16日 埼玉県 MPG 溺死
十分な知識を持たない初心者がMPGユニットでフライトし川に墜落。
2. 4月25日 愛媛県 MPG 海面に激突し全身打撲により死亡
知人の機材で飛行。スパイラル後、そのまま海に墜落。
3. 5月10日 京都府 PG 溺死
河川敷に着地する予定が、風に流され着水。
4. 5月20日 三重県 MPG 死亡
海岸で飛行中の事故。経験約10年 スピンしながら墜落。
5. 6月24日 兵庫県 PG 死亡
レッグベルト装着忘れの落下事故。
6. 7月12日 北海道 MPG 死亡
海岸で死亡を確認。目撃者無し。
7. 7月17日頃 スイス PG 死亡
事故者は10年以上毎年スイスで飛行しているベテラン。山際で潰されレスキューパラシュートを投げたが、山肌に接触して滑落死。
8. 7月29日 長野県 PG 死亡
湖上でSAT練習中の事故。バーディゴ、ブラックアウト、または操作ミス。詳しい原因はわかっていない。死亡原因：心臓破裂、大動脈破断。
9. 8月1日 長野県 PG 死亡
山肌を攻め過ぎたことによる潰れから、その後の回復操作が不適切。山肌に激突。事故者は約20年の経験。
10. 8月2日 静岡県 PGタンデム パッセンジャー頬骨骨折。
ハーネスのレッグベルト装着忘れ。

11. 8月15日 徳島県 MPG 意識不明

台の上でエンジン始動を行い、エンジン始動と共にユニットが倒れてプロペラが頭に接触し頭蓋骨骨折。

12. 8月28日 静岡県 PG 死亡

強風時のテイクオフによる事故。

13. 9月5日 宮崎県 HG 死亡

離陸時安定 3m/s 位の風が吹き、飛び乗りし片翼がひっかかり、グランドループし側溝に接地。

14. 10月18日 徳島県 PG 死亡

通常のフライト開始、約 20 分後、空中で意識不明となり発見時には死亡。

15. 11月15日 島根県 MPG 死亡

ハイパワーで離陸直後、ストール+ツイスト 溺死

16. 12月10日 栃木県 PG イントラ重症

T/O サポート中、手が絡まり浮き上がり 50m 落下

MPG 5 名死亡 PG 7 名死亡 HG 1 名死亡

教員・スクール事業委員会 委員長 山谷 武繁

- 1) 教員検定会 PG 5 名 HG 0 名
- 2) 教員助教員更新講習会 11 カ所 48 名受講
- 3) レスキューパラシュートトリパック認定証更新講習会 11 カ所 37 名受講
- 4) レスキューパラシュートトリパック認定 46 名 (新規 5 名 更新 41 名)
- 5) PG 教本改訂 (進行中)
- 6) HG 教本作成 (進行中)
- 7) レスキューパラシュートトリパック認定証についての見直し
- 8) 検定員、教員制度の見直し

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) PG 教本副読本・動力付きパラグライダー完成。販売開始
- 2) 下総航空自衛隊安全会同参加
- 3) 重大事故多発のため MPG パイロット安全セミナー計画準備
- 4) MPG 大会の開催を検討

制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHFに関わる制度の定款、規約、規程、規則等の文書管理
- 2) FAI技能記章規程改訂（アキュラシー部門追加）の提案
- 3) FAI技能記章交付規程の提案
- 4) FAI技能記章申請書の提案
- 5) FAI公式立会人の検討
- 6) HG教本全面改訂作業に協力
- 7) 公益財団法人日本体育協会の組織、保険の調査結果の報告

ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

- 1) ハングライダーのパンフレット(紹介版)作成（進行中）
- 2) 現在飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討
 - フライヤーズボイスの活用について検討

役員選任実行委員会 委員長 荒井 稔

- 1) 2015年JHF総会にて役員選任の手配等
- 2) 役員選任規約改訂について検討